学校番号	3010

令和5年度 工業（インテリアデザイン） 科

教科	工業	科目	基礎デザイン実習	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎デザインでは、造形やデザインの基礎を学びます。工業製品などに適用されるデザインの視点から、色彩構成、立体構成を通してデザインにおける適切な材料・技術を選択した上で、今後の作品制作に活用することができるよう学習します。
履修条件
なし

2　学習の到達目標

・造形やデザインの基礎を学ぶ。
・工業製品などに適用されるデザインの視点から、色彩構成、立体構成に必要な道具の扱い方や様々な技法について身に付ける。
・作品制作に活かすことができる基礎的な能力を身に付け主体的に取り組む姿勢をつくる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	材料の特性と加工技術について実際のデザイン事例を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	工業製品などへの活用に着目して、材料の特性と加工技術に関する課題を見いだすとともに構想を立て、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善することができる。	材料の特性と加工技術について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	色彩構成と立体構成①	・道具・画材の使い方 ・色彩構成課題 ・色相環と混色 ・立体構成課題 ・紙のレリーフ ・小作品制作 線画・溝引き・ロゴマーク等	a：道具や画材の使い方を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 b：材料の特性と加工技術に関する課題を見いだすとともに構想を立て、作品を制作している。 c：材料の特性と加工技術について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等
2	色彩構成と立体構成②	・色彩構成課題 ・水彩の室内パース ・立体構成課題 ・紙とスチレンボードの立体制作 ・小作品制作 コラージュ・パース・レタリング等	a：道具や画材の使い方を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 b：材料の特性と加工技術に関する課題を見いだすとともに構想を立て、作品を制作している。 c：材料の特性と加工技術について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等
3	色彩構成と立体構成③	・色彩構成課題 ・立体構成課題 ・小作品製本仕上げ ・作品の発表	a：道具や画材の使い方を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 b：材料の特性と加工技術に関する課題を見いだすとともに構想を立て、作品を制作している。 c：材料の特性と加工技術について自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 自己評価・相互評価 等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度